

個別報告公募のお知らせ

国際法学会 研究企画委員会

本学会においては、学会員に自主的かつ公平な研究発表の機会を多く提供することによって、学会員の研究意欲を喚起し、学会活動のいっそうの活性化をはかるという方針から、2013年度研究大会以来、正式に個別報告公募制を採用しています。

2022年度研究大会の公募要領は以下の通りです。ふるってご応募いただきますようご案内申し上げます。

公 募 要 領

1. 報告時期

2022年度研究大会時(2022年9月5日(月)～7日(水))に、コンベンション方式で静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップにおいて開催される予定です。

2. 報告テーマ・形式

報告テーマは自由論題で募集します。報告は、「個別報告公募分科会」(4名程度。1人あたり報告30分、質疑応答10分程度)において行います。30分以内で報告できる内容としてください。英語による報告も歓迎します(ただし、その場合には、少なくとも研究大会の10日前までに、学会ホームページでの公表用に英文の報告原稿を研究企画委員長宛に電子メールに添付して提出することが条件となります)。

3. 応募資格

応募時及び報告時に国際法学会会員である必要があります。なお、同一研究大会について、個別報告公募とパネル報告公募の双方に重複して応募することはできません。

4. 応募手続

応募者は、学会ホームページ掲載の「応募フォーム」又は自由書式で下記の必要事項をみれなく記載したものを、2022年2月5日(土)(必着)までに研究企画委員長宛に電子メールに添付してお送りください。研究企画委員長は、応募書類受領後、原則として1週間以内に受領確認を応募者に通知します。

記載事項

- (1)氏 名
- (2)所属及び地位
- (3)略 歴(学部以後の学歴及び職歴)
- (4)連 絡 先(住所、電話番号、電子メールアドレス)
- (5)研 究 分 野(国際法、国際私法、国際政治・外交史の別)
- (6)国際法学会報告歴
- (7)関係業績一覧(主要業績5点以内)
- (8)研究報告の題目(日本語と英語)及び概要(1500字程度、英語での報告の場合は英文で500ワード程度)

宛先

研究企画委員長 小畑郁

E-mail: obata * law.nagoya-u.ac.jp

(送信の際には、「*」を「@」に変えてください。)

5. 審査手続

研究企画委員会は、公募審査委員会を設置して、応募者から提出された研究報告の題目・概要及び研究歴・報告歴などに基づく審査を依頼し、その結果を踏まえて報告者を決定します。採用に際しては、報告内容に関する付帯意見を付すことがあります。

6. 結果発表

応募者には、原則として電子メールを用いて採否(採用に当たって付帯意見又は一部変更の条件を付す場合には、それも含む)を遅くとも研究大会の3ヶ月前までに通知します。また、学会ホームページにおいて採用され報告が確定した者の氏名及び報告題目を公表します。

7 注意事項

- 報告におけるプロジェクターの使用は、原則として認められません。
- 個別報告公募によって報告を行っても、将来の依頼報告の機会に影響が生じることはありません。

以上